・ファシリテーター：渡辺崇史（日本福祉大学）

・登壇者：生川友恒、齋藤大地

・進行：長谷川万由美（宇都宮大学）

＜要旨＞

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため大学の教育も大きな変化を強いられている。オンラインやオンデマンドといった新しい授業形態は学生の学びの変質をもたらし、特に、障害を持った学生への従来の合理的配慮が役に立たない場面も多く、見直す必要も出ている。今回の研究討論会では、「コロナ禍で高等教育での合理的配慮」というテーマで、長引くコロナ禍が資格取得にどのような影響を与えているかを検証し、オンライン・オンデマンドも視野に入れた合理的配慮のあり方について考える。